

第3回 技術講演会・出展技術発表会を行いました。 (平成26年7月30・31日)

関東技術事務所では、建設技術展示館を開設し、平成25年11月に第12期リニューアルを行い、技術者に向けた建設技術に関する情報提供を実施しております。その一環として「第3回技術講演会・出展技術発表会」をさいたま新都心合同庁舎1号館2階講堂にて開催しました。今回は、両日で延べ390名という多数の方々のご参加を頂きました。

主催者を代表して、関東技術事務所長の挨拶の後、技術講演会第1日目は、香取市 建設水道部 都市整備課 市街地整備班主査 坂本 興久様による「千葉県香取市の東日本大震災の被害と行政の対応」、2日目は、独立行政法人土木研究所 地質・地盤研究グループ土質・振動チーム 主任研究員 石原 雅規様による「東日本大震災による液状化被害と対策工に関する最近の動向について」と題したご講演を頂きました。

技術講演会の後は、出展技術発表会で出展者により14技術が紹介されました。

1 日 時	: 平成26年7月30・31日(水・木) 13:00~17:00
2 場 所	: さいたま新都心合同庁舎 1号館 2階講堂
3 参 加 者	: 1日目 217名、2日目173名 延べ 390名



主催者挨拶



1日目 技術講演会



2日目 技術講演会

要旨:建設技術展示館は、見て、触れて、理解を深める、日本で唯一の常設の展示館。建設技術は、現場で使い、検証し、PDCAサイクルを廻していくことが重要。

要旨:①香取市での震災の特徴、②地震時の初動体制、③各施設の被害状況と対応、④液状化対策事業、⑤道路構造による被害の差、⑥液状化予測

要旨:①液状化の被害の実態、②道路における液状化被害、③液状化被害の予測、④液状化対策の考え方、⑤その他の道路構造物の被害と対策



出展技術発表会



1日目 参加状況



2日目 参加状況

出展技術発表会の内容

今回の出展技術発表会のテーマは、「土質改良、土工、地盤改良、補強土擁壁、地山補強工、地中連続壁、函渠関係」で、第1日目、第2日目ともに各7技術についての発表を行いました。

【1日目】

No	技術名称「副題」	NETIS登録No.	出展者名
1	ボンテラン工法 泥土リサイクル技術	TH-020042-V	ボンテラン工法研究会
2	万能土質改良機による建設発生土再利用システム 不良土を混合し使える土にする技術	KK-980012-V	株式会社 オクノコトー
3	ヒ素汚染土壌の不溶化剤 不良土を混合し使える土にする技術	HK-060003-V	株式会社 イーエス総合研究所
4	バルーングラウト工法 既設構造物直下の液状化対策をする技術	SK-110016-A	東亜建設工業 株式会社
5	マルチジェット工法 地中に硬化材を噴射して地盤改良をする技術		前田建設工業 株式会社
6	パワーブレンダー工法(スラリー噴射方式) 浅層・中層混合処理工	CB-980012-V	パワーブレンダー工法協会
7	RRR工法 剛壁面補強土擁壁工法	KK-980030-V	RRR工法協会

【2日目】

No	技術名称「副題」	NETIS登録No.	出展者名
1	地山補強土『PAN WALL(パンウォール)工法』 法面を急勾配化するための地山補強土技術	CB-980093-V	PAN WALL工法協会
2	杭打設管理システム パイルナビ 杭打機の打設位置を管理する技術	KT-120091-A	計測ネットサービス株式会社
3	STマイクロパイル工法 タイプI 構造物の基礎・地盤の補強に新しいテクノロジー 小口径(φ300以下)の杭	HR-030012-V	NIJ研究会
4	鋼製地中連続壁工法 狭隘地施工に適した連続地中壁工法	KT-980191-V	鋼製地中連続壁協会
5	オープンシールド工法 水路の新設、既設水路の改修をする技術	KT-990261-A	オープンシールド協会
6	オープンピット工法 開削型自走式シールドを用いた函渠埋設工法	CB-990017-A (旧番号)	オープンピット工法協会
7	社会資本整備における地質調査業の役割 関東地質調査業協会の技術的特徴と活動内容の紹介		一般社団法人 全国地質調査業協会連合会関東地質調査業協会